

リアリティのある就業選択・・・ 市役所事務職で初のインターンシップ



根室高校では、将来の生き方や進路選択を広げ、社会で働く意義を見出すことを目的に平成11年よりインターンシップ（就業体験）を行っています。14年目となる今年度は、10月9日から11日の3日間、商業科・事務情報科の2年生78人が各事業所・団体などで就業体験を行いました。

例年、商業科・事務情報科の約70%の生徒が就職を希望しており、なるべく生徒の望む職種での就業体験となるよう、教員一丸となってサポートしています。中には希望者が集中し、希望とは違う職種での就業体験となった生徒もいますが、自分の知らない職業に触れ、「こんな職種、こんな業界があるんだ。」と、新しい発見となり、将来の選択肢の幅が広がったという声が聞こえました。

今年度の傾向として、就職希望の生徒は、実際に働きたい職種、進学希望の生徒は、数年後を見据えた職種の選択が多くみられたそうです。商業科長の木戸先生は「これは、進路意識が高く、目標が明確となっている証拠ではないか。」と話していました。

根室市役所では今までに、保育所や図書館で就業体験を受け入れてきましたが、今年度、初めて事務職での就業体験を受け入れました。

市役所で就業体験した3人を紹介！



なが ほら こう へい くん
永 洞 光 平 くん

- ①根室高校商業科
- ②陸上競技部
- ③社会体育課
- ④スポーツが一般的に好きなので、青少年センターで就業体験してみたいと思いました。



みなと や とう い くん
港 屋 斗 偉 くん

- ①根室高校商業科
- ②サッカー部
- ③総務課
- ④写真を撮るのが好きだったので、広報担当で就業体験してみたいと思いました。



すず き かず や くん
鈴 木 一 矢 くん

- ①根室高校商業科
- ②卓球部
- ③商工観光課
- ④市のイベントに興味があり、商工観光課で就業体験してみたいと思いました。

①学校学科 ②部活 ③配属先 ④市役所（配属先）を選択した理由

ほかにも初めての各事業所・団体が…

市役所の他、愛の家グループホーム根室、オートバックス根室店、バラエティキッチンNOMURA、MOGA-21の5件で初めて就業体験を行いました。



愛の家グループホームにて補助する高橋さん



オートバックス根室店にて整備方法の説明を聞く竹本くん



キッチンNOMURAにて盛り付けをする小平くん



MOGA-21（美容室）にて洗物をする梅井さん

この3日間で、僕たちが当たり前のように練習できたり、大会に出場できるのは、裏で支える人たちの努力があることや、子どもから大人までさまざまな世代の市民が、スポーツに関わるきっかけづくりをしているということを感じました。

僕は、この就業体験で「広報は、読み手と作り手の両方の目線から物事を見るのが大切」ということを学びました。言いかえれば、主観だけではなく、相手の立場にたって物事を考えるということ、これは人としても大切なことだと感じました。市役所にはさまざまな人が訪れます。訪れた際、対応した職員は、挨拶やコミュニケーションを大切にしていました。

商工観光課では、イベント打合せ、ツアー旅行の状況把握、公共施設の点検など、さまざまな仕事があり、驚きの連続でした。

市役所は、窓口業務やデスクワークが多いイメージがありました。商工観光課はイメージと全然違い、ひとつひとつに市役所といっても、このように「さまざまな仕事をして、くれている人がいる」、そして、みんなが「市民や観光客の目線にたって仕事をしている」、だから僕たちは安心して楽しく暮らせるんだと思いました。



永洞 光平



港屋 斗偉



鈴木 一矢

先生方の声



木戸 義典 先生（左）

インターンシップを受け入れてくださった各事業所・団体の皆さんのおかげで、生徒たちは、【仕事は甘くない】という人としての勉強ができたと思います。この経験が子どもたちを大きくし、進路に向けてより充実した1年につながると思います。

山崎 剛 先生（右）

根室市内の事業所・団体の皆さんのお力添えがあり、14年間このインターンシップが継続できています。生徒たちには【働く意義】や【社会貢献】を考え、【自己研鑽】をするきっかけになってくれたらと考えています。自己を高める貴重な経験を活かして学校生活を過ごし進路を実現してもらいたいです。

※根室西高校のインターンシップについては、2月号で「インターンシップ発表会」を特集します。